講義ユニット名	整形外科	所属科目名	器官・システム病態制御学Ⅱ
講義ユニット 責任者	あだち のぶお 安達 伸生	所属	整形外科
講義ユニット コーディネーター	なかまえ あつお 中前 敦雄	所属	整形外科
授業方法	講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。		
概要	運動器とは、体を支え、動かす組織である骨・関節・筋肉・靭帯・神経などの総称です。運動器の疾患は、新生児、小児、学童から成人、高齢者まであらゆる年齢層に及び、上肢（肩、肘、手）、下肢（股、膝、足）、脊椎（脊柱）・脊髄、骨盤など体の各部位に関連しています。先天性の変形、成長期の障害、スポーツ傷害、交通外傷、加齢による変形性関節症、リウマチ、骨粗鬆症、骨・軟部腫瘍など幅広い領域の疾患があります。治療も薬物療法、理学療法などの保存療法から手術療法に至るまで、幅広い知識と手技が要求されます。本ユニットの講義では、運動器の構造から、運動器疾患の診断、治療に至るまでの実際を理解し、それぞれの疾患に対する基本的な知識を得ることをめざします。		
講義ユニットの 到達目標	脊柱の構成と機能を説明できる。 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。 抗重力筋を説明できる。 運動麻痺・筋力低下の原因と病態生理を説明できる。 運動麻痺・筋力低下をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 運動麻痺・筋力低下がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 腰背部痛の原因と病態生理を説明できる。 腰背部痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 関節痛・関節腫脹の原因と病態生理を説明できる。 関節痛・関節腫脹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。 関節痛・関節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。 筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。 筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。 四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。 関節の脱臼、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。 コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。 骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。 絞扼性末梢神経障害（手根管症候群、肘部管症候群等）を列挙し、その症候を説明できる。 頸椎症性脊髄症（脊柱靭帯骨化症を含む）・頸椎症性神経根症の神経症候を説明できる。 脊髄損傷の診断、治療を説明できる。 腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。 腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。 腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。 運動器慢性疼痛（腰背部痛、頸部痛、肩こり）の病態、診断と治療を説明できる。 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。 椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエスの症候、診断と治療を説明できる。 移行性脊椎腫瘍、骨肉腫について概説できる。		

講義ユニットの到達目標	原発性骨腫瘍（骨肉腫、Ewing肉腫）の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。 転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。 悪性軟部腫瘍（脂肪肉腫）の診断、病理所見、治療を概説できる。 スポーツ医学を説明できる。
講義日程	別紙日程表を参照のこと
出席の取り扱い	出席状況把握システムにて毎講義出席（学生証）をとる。オンライン授業ではTeamsへのアクセス履歴で出席を確認する。 3分の2以上の出席がない場合は試験（本試験、追試験とも）の受験資格を与えない。
評価項目	到達目標の達成度 （基本的理解と知識の応用）
評価法	MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は60点とする。
予習・復習へのアドバイス	予習：予定された授業内容に対応する項目を推薦参考書等で調べておく（とくに代表的な疾患・傷害）。復習：講義で使用したスライドのプリントをもとに、講義で示した重要項目や分からなかった部分を推薦参考書等で調べる。
推奨参考書	【購入を推奨する参考書】 標準整形外科学 共著 第15版 医学書院 【その他、学習に有用な参考書等】 図解四肢と脊椎の診かた Hoppenfeld著 首藤 貴翻訳 医歯薬出版株式会社 整形外科医のための神経学図説 ― 脊髄・神経根障害のみかた、おぼえかた -Hoppenfeld著 津山直一監訳 新装版 南江堂